



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

週報 No. 10

2020.9.9(No.3055)

ロータリーで良いことをしよう

第2560地区ガバナー／佐藤 真
 会 長／野崎喜一郎
 会長エレクト／歸山 肇(クラブ奉仕A)
 副 会 長／松永一義
 幹 事／渡辺良一
 S A A／五十嵐博宣
 会 計／柳取崇之
 直前会長／若槻八十彦

例会日／毎週水曜日12:30～
 例会場及び事務局／
 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内
 例会場／TEL 34-3311
 事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095
 E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
 http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
 (~はshiftを押しながら“へ”のキーを
 押してください)

■本日の出席会員数:60名中47名
 ■先々週出席率:88.14%

【先週のメイクアップ】

- [9.3] 市内4RC会長幹事会へ
 ・野崎喜一郎さん、渡辺良一さん
- [9.4] 吉田RC
 ・相場弘介さん、加藤紋次郎さん



ロータリーは機会の扉を開く

2020～2021 年度国際ロータリーのテーマ



「早朝の幻想的な田園」

会長挨拶 「福岡県」

野崎喜一郎 会長



15年位前になりますが、工業会の工場視察旅行で北九州市の新日本製鉄を見学に行きました。敷地内は非常に広く、構内にはレールが敷かれて汽車で材料や製品を運ぶという大変広い工場です。溶鉱炉の前に立つと熱気が感じられて、溶けた鉄が流れ出るときは地獄の釜が空いた

ような光景でした。

小倉市内のホテルで懇親会がありました。私は、大学のヨット部の仲間が北九州に居ましたので、懇親会を途中で抜け出すことにしました。4人で小料理屋に行き、久々の再会にビールで乾杯。出てきたビールは缶ビールでした。そのときは少し変わった店だなと思ったくらいでした。料理を食べ、缶ビールを飲み店を出ました。2軒目の店に着き再び乾杯。今度も缶ビールが出てくるのです。3軒目のスナックに入ると又缶ビールが出てくるのです。一緒に居た仲間に聞くと「私が行く店は缶ビールを出さないといけないのです」と言うのです。そこで私はまじまじと缶ビールを観察しました。なんとスチール缶なのです。新日本製鉄関係の人にはス

チール缶を置いてありますよと証明しないとイケないのだそうです。私はビックリしましたが、さすがは新日本製鉄とと思いました。自社の製品を缶ビールにしていたわけです。店に置いてないとどのような罰があるのかは聞きませんでした。もし知っている人が居ましたら教えてください。

記念にチール缶を土産にもらってホテルに帰りました。

翌日土産を持ってバスに乗り込み、参加者にチール缶を見せて昨日の事を話しました。朝チール缶を良く見ると又ビックリしました。製造年月が1年以上前なのです。チール缶のビールをいくつ作ったか分かりませんが、新日本製鉄の関係者でも6ヶ月で飲みきれない量である事は、間違いありません。

幹事報告

渡辺良一 幹事



◎三条ローターアクトクラブより

「9月第一例会のご案内」

日時 9月10日(木) 19:30~21:00

会場 リサーチコア 4階・異業種交流室

ニコニコBOX

野崎喜一郎会長

今朝、トイレの個室に閉じ込められてしまいました。錠が壊れたのです。ドライバーでこじ開けて脱出できました。

渡辺良一さん

フェーン現象がやっとおさまり、秋らしくなってくるのでしょうか…？まだ暑い日が続きます。ご自愛下さい。

長谷川正実さん、卓話楽しみにしています！

長谷川正実さん

つたない卓話ですがお許しください。

荻根澤隆雄さん

重陽の節句、本日は良い事がありますように。半日過ぎてますが！！

長谷川会員、卓話ご苦労様です。

樺山 仁さん

やっと台風の心配もなくなりそうです。

本日の長谷川会員の卓話に期待しております。

小林吾郎さん

最近はじめたロードバイクで60km走りました。気持ちのいいライドでした。

梨本次郎さん

母が昔山登りをしていた頃の手帳を見せてくれました。今の私は母と同じ山を登っています。不思議な気持ちになりました。

関川 博さん

ロンゲも定着してきたので、カタまでのびたら切ります。

長谷川さん、卓話楽しみにしています。

衛藤泰男さん

先週例会で頂きました妻の誕生祝い品、プリザーブドフラワー。本人は大変喜んでました。担当者にお礼申し上げます。

神子島正樹さん

毎日暑い日が続きます。体調に注意してがんばりましょう。

長谷川さん、卓話楽しみにしています。

吉井直樹さん

台風被害が、割と少なく良かったです。残暑のきびしい日々ですが、もう少しでしょうからのりきりしましょう。

本日、長谷川さんの卓話を楽しみにしています。

安達俊明さん

ようやく暑さも収まってきますかね。

長谷川さん、楽しみです。

中村和彦さん、 相場弘介さん

よいことがありました。スマイルボックスに協力いたします。

斎藤真澄さん、 渡辺勝利さん、 小林卓哉さん、

歸山 肇さん、 金子俊郎さん、 早川滝徳さん、

寒河江勝俊さん、 松永一義さん、 松永隆夫さん、

柳取崇之さん、 船越良則さん、 小越憲泰さん、

斎藤弘文さん、 石黒良行さん、 杉山幸英さん、

若槻八十彦さん、 丸山行彦さん、 中條克俊さん、

石橋育於さん、 落合孝夫さん

長谷川正実会員、本日は卓話ありがとうございます。お話を楽しみにしております。

9月9日分 ¥ 34,000

今年度累計 ¥ 422,000

「卓 話」



長谷川正実 会員

三条商工会議所の長谷川です。

昨年12月に三条RCに入会、新入会員ということで自己紹介を中心に話をさせていただく。

【自己紹介】

長谷川 正実(はせがわ まさみつ)、年齢は61歳、家族は私と妻の2人暮らし、子供は一人息子で横浜在住、息子の妻も一人娘で孫も一人だけ。日本の人口減少に拍車をかけ申し訳ない気持ち。

三条商工会議所で仕事をしているが、家は農家で兼業農家。子供のころは家の手伝いが嫌ではなかったが、長男でもあり仕方なく農家の手伝いをしていた。大学卒業して仕事を始めてからは、他人に気を遣わずに自分のペースで太陽の下で汗を流す農作業が気持ちよくなる。週末には稲刈りが始まる。

わずか田んぼ7反の農家であり、国の方針では大規模な意欲ある担い手に農地集積を図ることとされているが、孫に爺ちゃんが額に汗して作ったコメを食べてもらうことが楽しみでもあり続けている。

趣味はドライブ、旅行、登山、基本的に家にいるより外に出ることが好き。

モットーとしているのは明けない夜はない、止まない雨もない。市役所で仕事をしているとそれなりにむづかしい案件や困難な仕事もあったが、必ず夜は明けるし雨は止んでくれると思いながら向き合ってきた。基本的には楽観主義者だと思う。

【経歴】

学校は地元の須頃小学校、大島中学校を経て高校は加茂高校。同じクラスになったことはないし会話したのも数えるほどだが樋口可南子と同年。卒業後、町で偶然出会ってあいさつしたが、その後にラジオでTBSのドラマの主人公になったことを聞き驚いた。

その後日本大学に進んだが、1年間は静岡の三島に校舎があり三島で過ごした。大学に進むまで三条、裏日本で生活していたが進学で初めて表日本、三島で生活し、特に冬はきれいな富士山を眺める生活で、裏日本と表日本の環境の違いを実感した。今でも三島から見る富士山が形よく均整がとれていて一番きれいだと思う。

三条RCにも日大の先輩は大勢おられ、先輩には申し訳ないがアルバイトや友人との交遊に明け暮

れ、真面目とは言えない学生生活を過ごす。

卒業後公務員となったが、職場は3つしか経験していない。

三条・燕土地区画整理事業一部事務組合に12年、財政・財務課に18年、最後経済部で8年間勤務。38年間で3つの職場しか経験しないというのは極めて異例、ほかに使ってみようがない、そこでじっとしているということだったかもしれない。

H31年3月に市役所を退職後、縁あって11月から三条商工会議所で仕事をさせていただくこととなり、ロータリークラブにも入会。

仕事を振り返って紹介。

【三条・燕土地区画整理事業一部事務組合】

三条・燕土地区画整理事業一部事務組合は特別地方公共団体。地方公共団体は都道府県、市町村といった普通地方公共団体と東京23区や一部事務組合の特別地方公共団体があり、小さいながらも市町村とある意味同格の団体で、議会や監査もあるし条例・規則など地方自治法の下で運営していく必要がある。

ここで地方自治制度を広く基礎から勉強でき、結果としてその後の公務員人生の基礎を築くことができた。

新幹線駅、高速道路ICの設置をきっかけに始まった事業だが、土地区画整理事業は減歩を伴い、私有地の面積は減らすものの環境整備により単位当たりの評価が上がるため、総体としての土地の評価を下げずに街づくりができ、都市計画の母といわれている。今は東北大震災の復興で多くの事業が施行中。

一方で既存の街の姿をすべてリセットして新しい街を造ることとなるため、「その街らしさ」が失われてしまい、そういう面ではどうかとも思う。

印象に残っているのは会計検査。通常時半日からせいぜい一日受検すればいいところ、3日間検査に入られた。大事なものは自信をもって対応することというのを学んだ。見解の相違もあったし一部書類の不備もあったが、自分のやった仕事について「こう判断したからこう対応した」と自信、責任をもって言い切ることが大切だということを痛感した。

【財政課・財務課】

H4年度に土地区画整理事業が完了し、財政課に配属、18年間で平職員である主事から課長までそこで過ごす。

今でこそ健全財政といえるが、平成一桁当時は非常に財政が厳しく、特に三条、燕、加茂の県央三市は県内でも財政が厳しい団体として県からも目をつけられていた。

財政運営はある意味自転車操業的なところもあつ

たが、1円でも多く財政調整基金を確保しよう、できるだけ貯金(基金)を取り崩さずに予算編成しよう」と取り組んだ。「健全財政」は達成できなかったかもしれないが一定の基礎づくりの手伝いはできたのではないか。

平成15年に課長昇進、初めて議場に入ったが公務員としての一つの到達点として考えていたので、感無量なところもあった。

印象に残るのがH16年の7.13水害。今に比べればマニュアルも十分ではなく手探りで災害対応にあたったところもあるが、その中で応急仮設住宅の建設を担当せよとの指示があり、県庁を訪問。

担当者は丁寧に対応してくれたが、防災担当部局の職員から三条市から報告がないことを捉えて叱責を受けた。当時三条市内がどういう状況かは十分想像できるだろうし、問い合わせればいいだけのことであり、困っている三条市に寄り添うのではなく叱責をもって迎える、誰のためにどこを見て仕事をしているのか憤りを感じた。

これを契機に、行政職員として他者、弱者に徹底して寄り添う意識の大切さを痛感した。

【経済部】

H23年度から経済部に部長として8年間勤務。

市役所生活の中で産業界の皆さんとおつきあいや面識がない中で、自分に務まるか本当に不安だった。1年間は精一杯努めて、そこで無理だったら進退も考えざるを得ないとも思った。

そこで当時三条商工会議所会頭を務められていた齋藤さんに出会いご指導いただき、産業界の皆さんからも引き立てていただき、何とか職務を全うできたものと感じている。

経済部では印象に残る仕事をいくつか手掛けさせてもらったが、まず燕三条工場の祭典。

最初は越後三条工場の祭典としてスタートさせたところ、燕市の事業所からの参加要望があり、それではということで燕三条工場の祭典となったところだが、結果として地域のイメージアップに一定の役割を果たしたと思う。

経済部に行ったおかげで観光交流も担当、八十里越えをきっかけにして只見町との交流も深めたが、国道289号八十里越えに対する只見町の期待は想像以上。当時の只見町長は事情さえ許せば三条市との合併も考えたいというほど八十里越え、ひいては三条市に対して大きな期待を寄せている。

市街地再開発ビルの問題については財政課当時から担当。いろいろな声があることは承知しているが、様々な制約や条件がある中で最善解であったと今も自信をもって言える。

最後の仕事はジャパンハウスロンドンでの燕三条

工場の祭典を基軸とした企画展の開催で、その関係で2回渡英した。

企画展そのものは好評だったし、新型コロナウイルスがなければ今年サンパウロでも開催予定だったが、せっかくの機会が延期になり残念。

地下鉄でスリに遭ってパスポートを拘られたことや妙齢の女性から席を譲られたことは教訓にもなったし思い出にもなった。

【三条商工会議所】

市役所退職後R元年11月から専務理事を務めることとなり、同時に三条RCにも入会させてもらった。

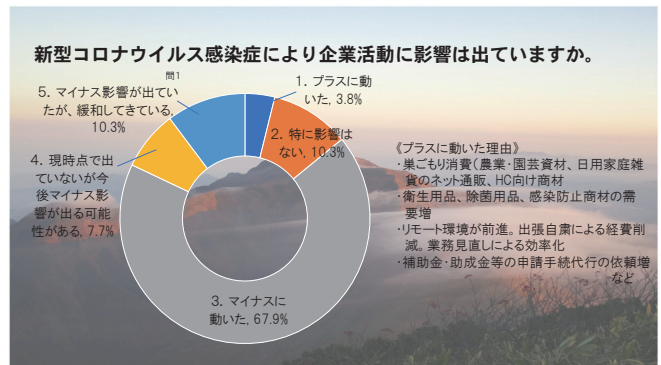
就任後新型コロナウイルス対応により様々な事業が中止、延期。

特に今年は三条商工会議所設立80周年の年であり、様々な記念事業が予定されていたが、軒並み中止延期となり残念だがやむを得ない。

三条商工会議所では7月に会員企業向けに新型コロナウイルスの影響についてアンケート調査を実施したので、その概要について紹介する。

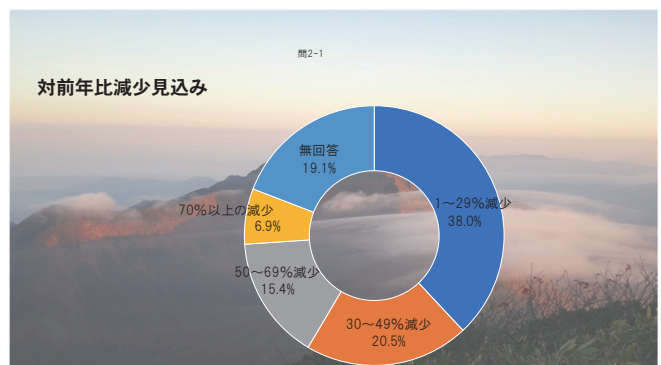
【企業活動への影響】

多くの企業ではマイナスとなっているが影響なしが10%、プラスに働いたが4%。その要因は巣ごもり消費とか関連商材の需要増。ほかにはリモート環境が前進し経費削減が図られたなどの意見。



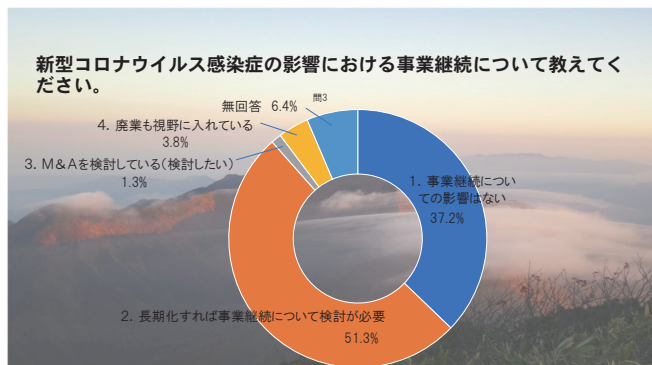
【減少見込み】

アンケート調査では概ね20~30%減がボリューム層。一方で70%以上の減少も7%と大きな影響を受けている。



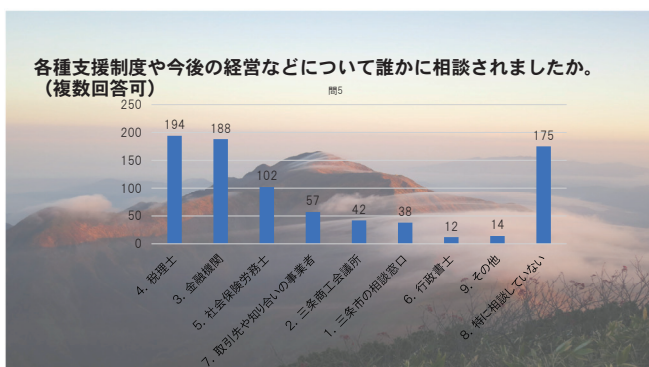
【事業継続について】

5%ほどの事業所が廃業やM&Aを検討しており、こうした企業には個別に訪問し相談させてもらっている。



【相談先】

会議所も一生懸命頑張っているが、圧倒的に日ごろから付き合いのある税理士や金融機関の皆さんへの相談が多い。会議所もより一層こういった方々と連携しながら支援にあたるのが重要だと再認識した。



【会議所法など】

そこで改めて、商工会議所の役割を考えると、法律ではその役割として商工業の総合的な改善発達と兼ねて社会一般の福祉の増進に資することとされており、日本の商工会議所の生みの親である渋沢栄一は、できるだけ多くの人に、できるだけ多くの幸福を与えるように行動するのが我々の義務である、としている。

商工会議所法
(目的)
第六条 商工会議所は、その地区内における商工業の総合的な改善発達を図り、兼ねて社会一般の福祉の増進に資することを目的とする。

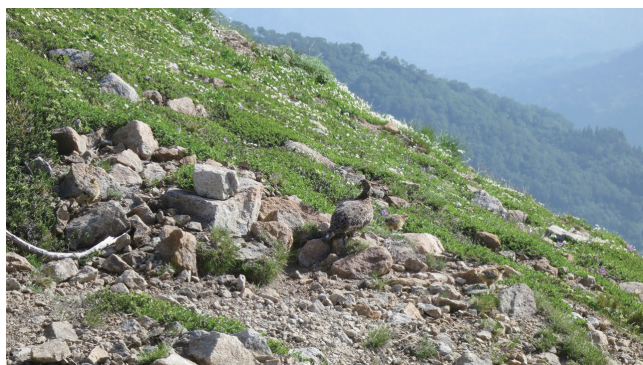
渋沢栄一のことば
できるだけ多くの人に、できるだけ多くの幸福を与えるように行動するのが、我々の義務である。

私利私欲ではなく公益他利を目指せということだ

ととらえ、改めて会議所でも商工業の発展と福祉の向上ということを胸において仕事にあたり、先ほどの相談件数も増えていくよう、頼りになる商工会議所を目指して取り組んでいきたい。

一方で、一日24時間、365日がそれでは大変で息抜きも大事であり、趣味でもある登山で息抜きをしながら仕事も充実させたい。


まだ暑い日が続いていることから、四季のさわやかな山のスライドを紹介し卓話を終わります。



ご清聴ありがとうございました。
引き続き、ご指導ご鞭撻をお願いいたします。

あだち としあき
安達 俊明 です。宜しくお願い致します！

2019年 12月 入会

氏名	安達 俊明	
生年月日(年齢)	昭和 24 年 4 月 8 日 71 歳	
事業所	有限会社 熊倉建設設計事務所	
役職	代表取締役	
趣味	車ででかける。(一人でも二人でも)	
特技	ありません。	
好きな物・事	離れた孫に会いに行くこと。	
苦手な物・事	家にじっとしていること。	

【自己紹介】

私は昭和24年4月寺泊で生まれ、現在も寺泊から約50年通勤しております。子供は3人いますが、家は65歳くらいから、今迄の嫁かと思うくらい強くなった妻と母(95歳)との3人暮らしです。

私の家は大工(知る限り先々代から)で、私も建築を仕事として50年くらいになります。

(とっくに進歩はとまっていますが・・・)

寺泊は海岸の町ですので、子供の頃は漁師さんも多く、大工さんにも家大工(私の家)と船大工の2種類あり木造船(7~8M)を造っているところを多く見ました。

今も事務所で所員と一緒に頑張ったような振りをしていますが、根気も続かず、最近社内でもあまり大きなことは言わないように心掛けています。

次週例会 9月23日 **休会**

次々週例会 9月30日 「外部卓話」
 たけちょう商店 竹内俊哉 様

